

# ほっこり 事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和6年3月6日

事業所名 文京区児童発達支援センター放課後等デイサービス ほっこり

討議年月日:令和6年1月29日

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			活動内容によって複数の部屋に分かれて活動し、密にならないよう、スペースや換気等配慮しています。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			活動が複数に分かれた際にも、配置が適切であるよう工夫しています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			活動場所の児童発達支援センターについては、段差のない構造やバリアフリートイレが設置されています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			活動前後に情報共有し、業務改善のための振り返りや改善策を検討しています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者の意向確認及び業務改善のため、第三者評価を受審しました。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			2月に利用者に配布し、区のホームページでも公開する予定です。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			外部機関による第三者評価を受審しました。第三者評価は3年に一度受けています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			職員の資質向上のための外部研修(Webを含む)や、研修報告の他に、係内での自主研修も行っています。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			利用児の計画は、保護者からの聞き取りや登所での子どもの様子をもとに、福祉職と専門療法士の多角的なアセスメントを通じ、計画作成を行っています。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点など
適切な支援の提供	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			子どもの発達の様子や発達検査の結果等を基に、係内で状況を共有し、支援に生かしています。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			活動プログラムは、1年間を見通し職員間で相談しながら立案し、実施にあたっては、クラスごとに調整し配慮事項や工夫する点を変えるようにしています。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			子どもたちがプログラム内容に見通しを持って参加できるように配慮しつつ、季節や行事的な内容も組み合わせて、様々な経験ができるようにしています。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			子どもたちの様子に合わせ、また、学校生活での行事の有無等も考慮しながら、支援にあたっています。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			1日の活動の中に、集団を意識する活動と、好きな遊びが楽しめる自由活動を設定しており、全場面をアセスメント機会ととらえ、計画を作成しています。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			支援開始前には毎回打ち合わせを行い、その日の支援内容や役割分担、動きの確認をしています。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			支援終了後には毎回振り返りを行い、支援の向上を図るために検討を重ね、次回の支援へとつなげています。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			打ち合わせの内容を記録し、支援内容に関しては、個別日誌にして記録をとっています。
18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			日々の振り返りとともに6か月に一度支援計画に基づいた支援内容の振り返りを実施しています。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点など
適切な支援の提供	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	○			自由時間と集団活動時間を設けて、様々な活動を行っています。また、教育センター内での科学教室の実施や、季節の行事、戸外活動等、様々な活動を経験できるよう支援プログラムを作成しています。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			サービス担当者会議には、適切な職員が参画できるよう配慮しています。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			必要に応じた情報共有を、個人情報取り扱いに注意しながら、保護者の了解を得て行っています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			医療的ケアが必要なお子さんが利用できる体制を整えており、主治医等との連携体制等を整えています。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			必要に応じて連携し、支援につなげています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○	小学生が通う施設のため、障害福祉サービス事業所への移行はありません。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			必要に応じて、教育センター内の総合相談室学齢期担当と情報共有を行っています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	児童発達支援センター内での活動を中心としており、交流は行っておりません。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			必要に応じて参加しています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			連絡帳や年2回実施している個別面談以外にも、必要に応じて個人面談を行っています。また、送迎時等、可能な限り保護者と職員がコミュニケーションをとる機会を大切にしています。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点など
保護者への説明責任等	の 関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			ペアレントトレーニングのプログラムは実施していませんが、保護者向け講演会の実施や、保護者との相談を必要に応じて行っています。
		30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			利用開始前の、契約面談や契約説明会にて、説明を行っています。運営規定は施設内に掲示もしています。
		31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			保護者面談は年2回実施、その他に相談があった場合には、内容に応じて助言等を行うようにしています。
		32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			クラス毎の保護者会開催時に、保護者懇談を行いました。
		33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			子どもや保護者からの意見は職員間で共有し、その都度丁寧な対応を心掛けています。また、重要事項説明書に相談・苦情窓口を掲載し、保護者へ周知しています。
		34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			年4回のほっこりだよりと、必要に応じて行事に関するお便りを発行しています。
		35 個人情報に十分注意しているか	○			個人情報に際した業務では、ダブルチェックを行い、取り扱いには十分注意しています。
		36 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			保護者や子どもの様子に合わせた伝達手段をとるようにしています。
		37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	地域の方を招待する行事は行っていません。
非常時等の対応		38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			教育センター内のマニュアルに基づいた研修や共有をしています。保護者に対して地震災害時の対応や感染症について簡潔に説明しています。
		39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			毎月、地震・火災・Jアラート等の非常災害を想定し、避難訓練を行っています。また、職員間で災害時の動きを確認し、救命研修にも参加しています。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点など
非常時等の 対応	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			虐待防止の責任者の設置、職員研修の定期的な実施、虐待防止委員会の開催など、虐待防止のための体制を整えています。また、委員会の内容を全職員で共有しています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			身体拘束等適正化対策検討委員会を開催し、適切な対応について、組織的に決定し、全職員で共有しています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			登所される全てのお子さんが安全におやつを食べられるよう、アレルギー除去食を提供しています。また、食物アレルギーに心配があるお子さんについては、保護者に献立確認を行い、必要に応じて、医師の指示書に基づく対応を行っています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			児童発達支援センター共通のヒヤリハット事例記録シートを作成し、全職員が閲覧できるようにしています。また、それについて日々の打ち合わせや職員会議でも、情報共有しています。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。